

1554

第五八號

閣

決行指定

馬券

決裁指定

永久

保存期限

房官臣大		課局務主		大臣 委	件名 彈丸下付ノ件	受領 番號	政務次官 同付	
了結	領受	出提	領受			號領	決裁前	連帶
昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日			銃三第二〇一	後	課名
(裁決)行決		帶 運		局長	政務 次官	起元應(課)名 陸軍科學研究所	執行(決裁)後 同課名	
長局		長局		局長	次官			
長課		長課		局長	參與官	書記官	審案 筆記者	
長課		長課		局長	高級 副官			
長課		長課		局長	主務 副官	主務副官 官房御用掛	審案 筆記者	
長課		長課		局長	主務課長			
長課		長課		局長	主務課員	主務課員	審案 筆記者	
長課		長課		局長	主務課員			

武考五〇二
二五九

乙、三、五、九

陸軍省 陸軍科学研究所長へ指令 技術本部

九月十五日附陸軍科研甲第三八〇號申請通

認可ス

但し細部に關してハ直接臺灣軍ト協議スル

陸軍省 陸軍科研 三九六〇 昭和六年九月廿壹日

前著備教育用彈藥ノ一部ヲ保存試驗ノ為科學研究所へ下付ノ件

陸軍省 副官長 陸軍省 陸軍科研 陸軍省 陸軍科研 陸軍省 陸軍科研

昭和六年四月十三日附陸軍省第一五七二號ヲ以テ適宜使用方通案セシ霧社事件残彈中

別紙通陸軍科学研究所、保存試験ニ付方認可也
之レシニ付、通知セシ度、依命通達ス

此テ下付彈ノ處置ニ就テハ陸軍科学研究所

通達スル旨

三九六〇

昭和六年九月廿壹日

陸軍 副官長 陸軍大臣 本廠長 へ 通達

昭和六年四月十二日附陸軍省第一五七二號ヲ以テ甚

濟軍ニ通(且使用方ニ関シ)通達セシ、露社事件

殘彈中別紙ノ通陸軍科学研究所ニ保存試

験ノ者下付方認可セラレシニ付、通知セシ度、依

命通達ス

三九六〇

昭和六年九月廿壹日

陸 軍

1557

控官

別	紙	員數
山	品 絶 縁 目	一 五
備考、 今後五ヶ年間に亘り毎年十月ノ候 三發宛ラ下附ス		

陸軍

陸軍省
陸軍部
陸軍少佐
陸軍少佐



1558

陸軍技術本部經由

陸科研甲第三八〇號

彈丸下附ノ件申請

昭和六年九月十五日

陸軍科學研究所長事務取扱續方勝

陸軍大臣 南 次郎 殿

台灣軍ニ特別支給中ノ山砲綠彈左記ノ如ク下附相成度申請ス

左 記

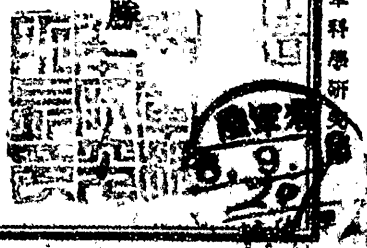
一 彈 數

山 砲 綠 彈 拾五發

二 目 的

該彈ヲ台灣軍兵器部ニ今後五ヶ年間委託保存シ毎年十月ノ候三發宛當所ニ運送ヲ受ケ分解分析シ保存試驗ヲ實施シ化學兵器熱地保存ニ關スル諸元ヲ得ントス

五
二
九月十五日



陸 軍

1559

閣 決行指定 決裁指定 永久 保存期限

大臣		受領		番		件名	
大臣 委		昭和三十七年二月二十五日		武第三五九號		整備用兵及急務教育用彈藥變更文書件	
局長 主務		昭和三十七年二月二十五日		起元(課名)		甘室 彦 軍	
次官		昭和三十七年九月九日		陸軍省		陸軍省 6.4.8 陸軍省 6.4.7	
政務次官		昭和三十七年九月九日		陸軍省 6.4.8		陸軍省 6.4.7	
參與官		昭和三十七年九月九日		陸軍省 6.4.8		陸軍省 6.4.7	
書記官		昭和三十七年九月九日		陸軍省 6.4.8		陸軍省 6.4.7	
審判者		昭和三十七年九月九日		陸軍省 6.4.8		陸軍省 6.4.7	

政務次官 回付 決裁前連帶

決行(決裁)後 同覽(課名)



陸軍 副官 陸軍参謀長へ通条

二月十八日附甚堂兵第一三五號ヲ以テ申請、趣警備用
兵器別紙、通変更シ教育用彈藥トシテ霧社事件
ノ殘彈タル十年式衝彈筒照明彈及四一式山砲締結彈々
藥筒、同燒夷彈々藥筒ノ限リ適宜使用差支無之
其他ニ認可ヤラレサル、付届知ヤレ度依命通条ス

陸軍第一五七二號 昭和六年四月拾參日

敬言備用兵器整理及彈藥使用方ニ関スル件

副官 陸軍兵隊本廠長へ通条

甚堂陸軍備用兵器別紙ノ通整理シ霧社事件ノ
殘彈ニシテ同率ニ保管ラル十年式衝彈筒照明彈及四一式

1561

山砲絲彈之藥筒、同燒夷彈之藥筒、適宜同軍、於之
演習用トシテ使用方認可セラレ、付差知セラレ度依命
通條ス

此ヲ費用ハ軍率費兵馬及馬匹費支弁、付為念

陸軍第一五七二 昭和六年四月拾陸日

陸軍

敬告備用兵器

現在備附品目員數及備附年月日

年月日	品目	員數	備附數	改正	差引	返納
大正一三.七.一七 陸普二.六.九二	三八式機關銃	五	五			
	保式機關銃	三五	三五			
	三八式銃甲器具箱	二〇	二〇			
	機關銃保彈板	四〇〇〇	一〇〇〇			三〇〇〇
	手榴彈	九五〇	九五〇			
	三八式銃實包	一四〇八二〇	三九六八四〇			
	三八式銃實包	二〇七〇〇	三五三〇			
	三八式銃空包	二四一三〇	三四〇〇〇			一三〇

兵器部
臺灣軍

昭和五、六、一
陸普二、大、七

備考、投下重(輕)爆彈、霧社事件、殘彈ヲ流用スルモノトス

三年式 機關銃實包 紙函共	二六 年式拳銃實包	十一 年式 平射步兵砲 十一 年式 曲射步兵砲	十一 年式榴彈 藥筒	三年式 機關銃 彈藥箱	十年式 曳火手榴彈	投下 重爆彈	投下 輕爆彈	四式 榴彈 藥筒	山砲 榴霰彈 藥筒
四八〇	二五七六	三〇	三〇	三〇	一〇〇〇	二五五	四五	五〇	四五〇
六〇四八〇	八四一六	三〇	三〇	六四	一〇〇〇	二五五	四五	五〇	四五〇
五九六八〇	五八四〇	三〇	三〇	六四	一〇〇〇	二五五	四五	五〇	四五〇



1564

警備用兵器及警備教育用彈藥變更處分件

臺兵第一五六號

警備用兵器及警備教育用彈藥變更處分件

申請

昭和六年貳月拾八日

臺灣軍司令官 渡邊錠太郎

陸軍大臣 宇垣一成 殿

當軍備附警備用兵器及之ニ伴フ警備教育用彈藥
ヲ左記ノ通變更支給セラレ度

左記

五月七日	銃	彈

警備用兵器

附表第一

配當基準數量ノ說明及希覽

警備教育用彈藥

附表第二

ハ屬奉ノ通トス



1565

昭和六年
五月七日

見

省
6 2 25
分
紀元

南華樂

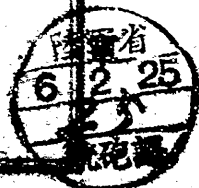
明及書

1565

昭和六年、友公^三限^リ本^多見^ノ通^リ
一^位に^係る^多見^ノ通^リ
在^於天^文寺^也
見^ル
1/4
甲^子年^課



1566 ST
成止へ軍ノ幕始り是也
昭也
[Seal]



貴見承渡

1565
軍事軍

1/3

銃砲



先鋒隊

2421

先鋒隊、特種部隊、機銃隊、銃隊、我砲隊、意兵、全、レ
山砲隊、銃隊、特種部隊、及、作、戦、用、砲、隊、一、般、の、銃、隊、の、
レ、快、速、に、行、く、事、
飛行機操縦隊、其他、銃隊、中、隊、員、支、給、所、等、者、ト
池、ハ

一八ノ兵隊

